



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東・札  
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 雅俊  
 問合せ先責任者(役職名) 広報IR部長 (氏名) 左柄 正典 (TEL) 03-3226-2124  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	152,438	1.5	5,768	9.7	6,359	8.0	5,272	46.9
2024年3月期第1四半期	150,185	6.3	5,259	32.1	5,887	26.1	3,588	167.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 8,788百万円(△11.7%) 2024年3月期第1四半期 9,950百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 78.06	円 銭 —
2024年3月期第1四半期	53.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期第1四半期	百万円 428,752	百万円 238,648	% 54.9	円 銭 3,485.31
2024年3月期	431,222	235,300	53.8	3,436.02

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 235,413百万円 2024年3月期 232,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 80.00
2025年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期(予想) 期末配当金内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	316,000	3.4	10,400	△7.5	11,200	△8.5	8,200	6.5	121.40
通期	630,000	4.1	19,000	2.9	20,300	2.1	13,600	△30.0	201.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	70,751,855株	2024年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,207,447株	2024年3月期	3,206,771株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	67,544,751株	2024年3月期1Q	67,543,141株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 有(任意)  
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は2024年8月9日(金)にアナリスト、機関投資家向けの説明会を開催する予定です。  
この説明会で使用する資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	13
(補足説明資料)	
2025年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する状況下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しており、今後も続くことが期待されます。先行きについては、世界的な金融引締め等が続く中、物価上昇や中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

食品業界においては、外食需要がインバウンド需要の増加等も受けて、回復傾向にあります。一方で、世界的な原材料価格や物流コストの上昇により、厳しい経営環境が継続しています。また、賃上げ等による所得の改善が、消費マインドへ与える影響は不透明な状況です。

このような環境下、当社グループは「新たな成長のタネづくり」、「基盤活用による物量の拡大」、「国内酪農生産基盤の強化・支援」に向けた取組みを事業戦略の3つの柱とする「雪印メグミルクグループ 中期経営計画2025」を2023年度よりスタートいたしました。

その2年目となる2024年度は、「雪印メグミルクグループ経営方針2024」におけるテーマを「MOVE」とし、(1)新たな成長のタネづくり、(2)基盤活用による物量の拡大、(3)国内酪農生産基盤の強化・支援、(4)基盤戦略の推進、(5)サステナビリティ課題への取組みを重要取組み事項と位置付け、積極的な取組みを進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は152,438百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は5,768百万円(前年同期比9.7%増)、経常利益は6,359百万円(前年同期比8.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,272百万円(前年同期比46.9%増)となりました。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

#### ① 乳製品

当セグメントには、乳製品(チーズ、バター、粉乳等)、油脂、ニュートリション事業(機能性食品、粉ミルク等)等の製造・販売が含まれております。

売上高は62,196百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は2,379百万円(前年同期比17.8%減)となりました。

(売上高の状況)

バターは、需要の活性化を図るためにプロモーション活動を推進し、市場を上回る需要を獲得できたことにより、前年を上回りました。

油脂は、増量キャンペーンやブランドプロモーションの推進等により市場を上回り、前年並みで推移しました。

チーズは、プロモーション活動の強化により、主力の「さけるチーズ」や「6Pチーズ」が好調に推移しました。その結果、チーズ全体でも前年を上回りました。

機能性食品は、モール型ECサイトへの参入や積極的なマーケティング活動等により、好調に推移しました。一方で、海外市場における粉ミルク等が減収となり、その結果、ニュートリション事業全体でも前年をやや下回りました。

(営業利益の状況)

各種プロモーション活動を進めたものの、固定経費の負担増などにより、前年を下回りました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料(牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。売上高は66,945百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は2,454百万円(前年同期比117.5%増)となりました。

(売上高の状況)

飲料は、機能的表示食品の「MBPドリンク」シリーズ、大容量タイプの「毎日骨太MBP」、「すっきりCa鉄」、中容量タイプの「雪印コーヒー500ml」等が好調に推移しました。その結果、飲料全体では前年を上回りました。

ヨーグルトは、「牧場の朝ヨーグルト」や「ナチュレ恵megumi」等のファミリーユース商品や、小容量タイプの「ブルーネFe 1日分の鉄分 のむヨーグルト」が好調に推移し、ヨーグルト全体でも前年を上回りました。

デザートは、「なめらかプリン」や、「アジア茶房」シリーズ等が好調に推移し、前年を上回りました。

(営業利益の状況)

各種コストアップに対応した価格改定により、増益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。売上高は13,374百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益は389百万円(前年同期比27.1%減)となりました。

(売上高の状況)

配合飼料の販売単価下落による減収が主な要因となり、当セグメント全体で前年を下回りました。

(営業利益の状況)

売上高減少による粗利益の減少等により、減益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は9,923百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は511百万円(前年同期比23.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

区分	2024年 3月期末	2025年 3月期 第1四半期	増減金額	主な増減理由
資 産	431,222	428,752	△2,469	現金及び預金△12,721 投資有価証券+4,968 受取手形、売掛金及び契約資産+2,968 商品及び製品+2,944
負 債	195,921	190,103	△5,818	未払法人税等△6,798 賞与引当金△2,902 支払手形及び買掛金+2,419 繰延税金負債+1,910
純資産	235,300	238,648	3,348	その他有価証券評価差額金+3,384

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2024年 3月期 第1四半期	2025年 3月期 第1四半期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	5,222	△3,097	△8,319	法人税等の支払額△6,381 棚卸資産の増減額△1,581 固定資産除売却損益△1,321 未収入金の増減額△934 仕入債務の増減額+2,162
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,428	△3,990	438	有形及び無形固定資産の売却による収入 +3,068 有形及び無形固定資産の取得による支出 △1,394 敷金及び保証金の差入による支出 △1,277
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,498	△5,695	△1,196	配当金の支払額△1,343 短期借入金の純増減額+290
現金及び現金同等物の 四半期末残高	16,651	16,266	△384	—

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,001	16,279
受取手形、売掛金及び契約資産	87,999	90,967
商品及び製品	40,619	43,563
仕掛品	1,047	1,145
原材料及び貯蔵品	17,412	18,347
その他	6,044	6,383
貸倒引当金	△356	△359
流動資産合計	181,767	176,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,741	60,189
機械装置及び運搬具（純額）	56,663	55,448
土地	48,770	47,140
その他（純額）	11,365	11,314
有形固定資産合計	177,541	174,092
無形固定資産		
のれん	441	418
その他	4,058	4,362
無形固定資産合計	4,499	4,781
投資その他の資産		
投資有価証券	53,326	58,294
繰延税金資産	2,873	2,736
その他	11,380	12,683
貸倒引当金	△166	△165
投資その他の資産合計	67,414	73,549
固定資産合計	249,454	252,423
資産合計	431,222	428,752

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,070	65,490
電子記録債務	4,188	5,145
短期借入金	10,206	10,358
未払法人税等	8,633	1,835
賞与引当金	5,933	3,030
その他	30,441	29,125
流動負債合計	122,474	114,985
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	29,054	28,854
繰延税金負債	7,189	9,100
再評価に係る繰延税金負債	3,815	3,815
役員退職慰労引当金	6	6
退職給付に係る負債	8,480	8,627
資産除去債務	1,222	1,224
その他	8,678	8,488
固定負債合計	73,447	75,117
負債合計	195,921	190,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,027	17,027
利益剰余金	167,278	167,115
自己株式	△5,322	△5,323
株主資本合計	198,983	198,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,958	25,343
繰延ヘッジ損益	40	63
土地再評価差額金	8,571	8,571
為替換算調整勘定	1,033	1,148
退職給付に係る調整累計額	1,499	1,467
その他の包括利益累計額合計	33,102	36,594
非支配株主持分	3,214	3,235
純資産合計	235,300	238,648
負債純資産合計	431,222	428,752

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	150,185	152,438
売上原価	124,857	125,886
売上総利益	25,328	26,552
販売費及び一般管理費	20,068	20,783
営業利益	5,259	5,768
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	472	355
持分法による投資利益	81	145
その他	325	270
営業外収益合計	883	776
営業外費用		
支払利息	85	68
ギフト券廃止関連損益	61	-
その他	109	116
営業外費用合計	256	185
経常利益	5,887	6,359
特別利益		
固定資産売却益	10	1,207
国庫補助金	-	58
その他	-	67
特別利益合計	10	1,333
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	259	134
減損損失	19	75
固定資産圧縮損	-	57
その他	25	8
特別損失合計	304	276
税金等調整前四半期純利益	5,593	7,416
法人税等	1,925	2,132
四半期純利益	3,668	5,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,588	5,272

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,668	5,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,184	3,378
繰延ヘッジ損益	36	23
為替換算調整勘定	61	108
退職給付に係る調整額	4	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	14
その他の包括利益合計	6,282	3,503
四半期包括利益	9,950	8,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,848	8,764
非支配株主に係る四半期包括利益	102	23

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,593	7,416
減価償却費	4,283	4,361
減損損失	19	75
持分法による投資損益 (△は益)	△81	△145
のれん償却額	27	29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,068	△2,902
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△220	△69
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	129	131
固定資産除売却損益 (△は益)	249	△1,071
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△67
受取利息及び受取配当金	△476	△360
支払利息	85	68
未収入金の増減額 (△は増加)	1,159	225
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,356	△2,923
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,346	△3,927
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,190	3,353
その他	1,074	239
小計	6,270	4,436
利息及び配当金の受取額	528	418
利息の支払額	△96	△90
法人税等の支払額	△1,480	△7,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,222	△3,097
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△4	△3
貸付金の回収による収入	7	14
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,493	△5,888
有形及び無形固定資産の売却による収入	17	3,085
投資有価証券の取得による支出	△4	△86
投資有価証券の売却による収入	-	133
敷金及び保証金の差入による支出	△2	△1,280
その他	51	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,428	△3,990
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△117	173
長期借入金の返済による支出	△223	△221
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△3,974	△5,317
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△179	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,498	△5,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,687	△12,721
現金及び現金同等物の期首残高	20,338	28,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,651	16,266

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号2024年3月22日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第1四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	61,645	64,646	14,166	140,458	9,726	150,185	—	150,185
外部顧客への売上高	61,645	64,646	14,166	140,458	9,726	150,185	—	150,185
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,779	26	338	4,144	3,109	7,254	△7,254	—
計	65,424	64,673	14,504	144,603	12,836	157,439	△7,254	150,185
セグメント利益	2,895	1,128	534	4,558	670	5,229	30	5,259

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	62,196	66,945	13,374	142,515	9,923	152,438	—	152,438
外部顧客への売上高	62,196	66,945	13,374	142,515	9,923	152,438	—	152,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,738	25	293	4,057	3,284	7,342	△7,342	—
計	65,934	66,970	13,667	146,573	13,208	159,781	△7,342	152,438
セグメント利益	2,379	2,454	389	5,224	511	5,736	32	5,768

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年8月9日

雪印メグミルク株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 山本 道之

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 大屋敷 知子

## 監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている雪印メグミルク株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所及び証券会員制法人札幌証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

## 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所及び証券会員制法人札幌証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所及び証券会員制法人札幌証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が

認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所及び証券会員制法人札幌証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所及び証券会員制法人札幌証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- ※ 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。
  - 2. XBR Lデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。